



芸術鑑賞会



プロの方が演じる演劇「龍馬からの手紙」はいかがでしたか
以下の文章は劇団アルファーさんのブログより転写



など思いました。

終演後に龍馬さんも言ってくださいましたが、Twitter や Instagram など、#龍馬からの手紙 #劇団アルファーなど、ハッシュタグを付けて、感想を呟いていただくと、キャストのみん

今年の芸術鑑賞会はどうでしたかの問にとてもよかったと回答した人がほとんどでした。

観劇の感想文の中からいくつかを紹介します。

やりたいことをやる大切さ、生きることの重大さを考えることが出来ました。(1年男子)

迫力のある演技で圧倒されました。(1年女子)

歴史と現代の問題について深く考えさせられる演劇でした。(2年男子)

龍馬が日本だけではなく世界に目を向けて大きな夢を抱いていたことに感動しました。(2年女子)

昨日の10月24日は唐津市民会館にて、唐津西高等学校さんに「龍馬からの手紙」をお届けしました。

学生の皆さんにとって、お芝居を観るという機会はそうそう多くないと思います。

だからこそ！印象に残る1日になれたらいい



な励みになります！勿論、こちらのブログのコメント欄に書き込んでいただいても大丈夫ですよ！皆さんの感想、お待ちしております！

想像していた以上に面白く機会があればまた見に行きたいと思います(3年男子)

歴史とかはあまり詳しくはないのですが、すばらしい演劇に引き込まれました。(3年女子)

機会があればまた見に行きたいという感想が多く書かれていました。

中には、おりがとてもかわかったという感想もありました。



校内クラス読書会

11月14日(木)7限目1・2年生校内クラス読書会が行われます。

テキストをしっかりと読んで多くの意見や感想を交換し合い、有意義な時間にしてください。

新刊紹介

白銀の墟 玄の月十二国記(1・2) 小野 不由美 // 著
ついに来た！！18年ぶりの書き下ろし新作

1巻

戴国に麒麟が還る。王は何処へ一乍驍宗が登極から半年で消息を絶ち、泰麒も姿を消した。王不在から六年の歳月、人々は極寒と貧しさを凌ぎ生きた。案じる將軍李斎は慶国景王、雁国延王の助力を得て、泰麒を連れ戻すことが叶う。今、故国に戻った麒麟は無垢に願う、「王は、御無事」と。一白雉は落ちていない。一縷の望みを携え、無窮の旅が始まる！

2巻

民には、早く希望を見せてやりたい。国の安寧を誰よりも願った驍宗の行方を追う泰麒は、ついに白圭宮へと至る。それは王の座を奪い取った阿選に会うためだった。しかし権力を恣にしたはずの仮王には政を治める気配がない。一方、李斎は、驍宗が襲われたはずの山を目指すも、かつて玉泉として栄えた地は荒廃していた。人々が凍てつく前に、王を捜し、国を救わなければ。一だが。

